

かがやき

令和5年9月6日(水)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 6

「暑い」夏休みが終わりました。夏バテに注意しつつ、ゆっくり9月のスタート

記録的な「暑さ」が続いた夏でした。令和5年の夏休み。子ども達は、思い出に残る時間を過ごしたことと思います。約ひと月の休みの中、子ども達には見える部分、見えない部分の成長があったと思います。どのような夏休みだったか、思い出話を指導の中で共有・整理しながら、成長したことについても確認していきたいと思います。

この暑い気候に加え、長い休みから学校時間に回帰する日々のスタートです。生活リズム、日々の刺激や疲労等もたまる時期です。体調に気を付け、ゆっくりと体を学校生活時間に合わせて、後期に向けてのスタートを切れればと思います。

成長のかたちは人それぞれ。「柔軟」に受け止めて応援していければ

生活課題や学習課題において、解決したり達成したりする方法やスピードは人それぞれです。その背景には、誰にでも得意とすることや苦手なことが当然にあること、また、個々に成長していくスピードが違うということが挙げられると思います。「学校」という場を前提に、こうしたことを書くと難しい部分もありますが、「何年生でこれくらいのことができるようになる。」「みんなでやることを一緒に学ぶ。」等がある程度の「枠」の中で「勉強」というのが「学校」ですね。しかし、こうしたある種の「枠」があることで、その「枠」から外れやすかったり、なかなか約束を守れなかったりすることがあるという人は、不安になったり自信をなくしてしまったりするかもしれません。また、周囲で応援している人からすると「どうしてこんなことが難しいのか」と焦ったり心配したりする気持ちになることもあると思います。ただ、意識しておきたいのは最初にも書いたように、「人の成長には凸凹がある」ということと、「何かをわかる／その人なりにできるようになる」にはその人なりの時間があるということです(『〇年生でできなかった計算が〇年生でわかるようになった』というような事例もありますね)。

これから後期に向けての「学校生活」が始まっていきます。日々の勉強、学校行事(運動会・音楽発表会等々)、日々全力で生活している子ども達(大人達も)にはうまくいくことも、うまくいかないこともあると思います。そんな子供の「成長の凸凹」について、大人は柔軟に受け止め(その子なりの成長のスピードややり方、考え方をより理解し支援していく)、理解して応援していく、そんな姿勢を大切にしていければと思います。また、何かわからないことや心配なこと等があるときにはかがやき教室までご相談ください。どんな応援や支援ができるか一緒に探していきましょう。

「キミは、いたほうがいいよ」

映画「クレヨンしんちゃん・THE MOVIE 超能力大決戦」の主題歌、サンボマスターの「Future is Yours」の歌詞に
～キミはいたほうがいいよ 未来は君のためにあるの Future is Yours～

という一節があります。某新聞の8月末の全面広告にも「夏休みの宿題が終わってなくても、やりたいことがみつからなくても、テストでいい点とれなくても」のメッセージと一緒にこの歌詞が掲載されていました。夏休み終わりの子ども達への前向きな応援メッセージとして、この広告が印象に残りました。また、休み明け以外の全ての生活、学校場面でこの言葉がたくさんの人に届くといいなあと思いました。